

# 倉田コミュニティハウス通信

2008年9月号 NO. 22

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

## 倉田コミュニティハウス満2歳になりました。

2006年10月15日にオープンしてから、ちょうど2年。地域の皆様のおかげで、元気に満2歳のお誕生日を迎えます。そこで皆様と一緒に祝いしたいと思います。今回は横浜市水道局と「道志村・間伐材」で結ばれ、ご協力いただくことになりました。「間伐材で遊ぼう」をテーマに、写真たてを作り、笑顔をパチリ!!ちゃんと写真の入ったものをお持ち帰りいただきます。ご家族で、カップルで、お友達など皆様でお出かけ下さい。



日時・内容・参加費: 10月5日(日)



写真たて工作…午前10時から午後2時 ひとつ300円

お餅つき…午前11時半から品物がなくなるまで販売します。

売店…美味しいクッキーや焼き菓子・飲み物など

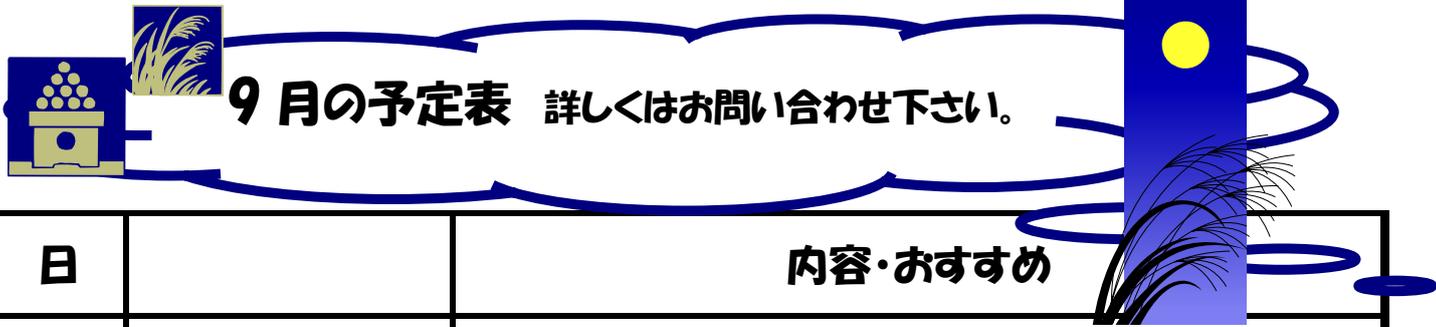


間伐材を自由に使えるコーナーやスーパーボールすくいもありますよ。申し込み: 9月2日(火)から申し込み開始いたします。

先着50名。来館・電話にて受け付けます。

当日はお車でのご来館はご遠慮下さい。





**9月の予定表** 詳しくはお問い合わせ下さい。

日	内容・おすすめ		
1(月)	<b>抽選会</b>	10:00 から 2008 年 10 月分の抽選会です。	
2(火)	読み聞かせプラス フリースペース	1歳～未就園児向けの 子育て支援です。 <b>先着 20組に限ります。</b>	<b>午前 11 時から</b> 絵本の読み聞かせや 紙芝居、体操などがあります。その後 <b>午後 1 時まで</b> フリースペースになります。
6・13・ 20・27 (土)	3 時 にな っ た ら ラジオ体操プラスお茶	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。 <b>参加費 100 円</b> です。
6・27 (土)	<b>倉田いけばなこども教室</b>	申し込みは終了しましたが、若干 空きのある講座もございます。 お問い合わせ下さい。	
8(月)	<b>秋からはじめる園芸</b>		
9・30 (火)	<b>大人のための生花教室</b>		
16(火)	<b>0 歳児クラブ</b>	0 歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終わりましたが、 ご希望の方はご相談下さい。
16(火)	まちの保健室 フリースペース	0才～高齢者 どなたでもどうぞ。	血圧や体重測定をし、看護師さんに 生活習慣病などの相談ができます。 <b>午後 2 時から 4 時まで</b>
19(金)	<b>サロン上倉田</b>	高齢者幼児向サロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごし下さい。 <b>午前 10 時から午後 2 時</b>
22(月)	<b>休館日</b>	<b>全館点検のためお休みいたします。</b>	
24(水)	<b>上倉田社協食事会</b>	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、ゆっくり お過ごし下さい。 <b>午前 11 時半～午後 2 時</b>
26(金)	<b>ハートぽっぽクラブ</b>	1才～2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	親子で歌ったり、遊んだり、楽しいこ といっぱいです。 <b>活動費 100 円</b> です。 <b>午前 10 時から午後 1 時まで</b>

予告編です。詳しくは10月号をご覧ください。

# 生活雑貨を作ってみよう！ 陶芸講座開講します。

普段使いのお茶碗・お皿・コーヒーカップなど自由に手びねりで作ってみませんか～世界でひとつのオリジナル作品です。  
2008年11月から2009年1月までの3回コースです。



## スタッフのひとり言

今年もちかくの小さな雑木林にウグイスがやってきた。

ホーホケキョ ホーホケキョ ケキョケキョ・・・といい声で鳴いてくれている。

春告鳥（はるつげとり）の名のとおり春まだ浅いころに遠慮がちな最初のひと声が聞こえてくる。

“声はすれども姿は見えぬ”目を凝らして捜してみるがその姿を見つけることはできない。スズメほどの大きさの地味な姿かたちということなので、鳴声だけを楽しんでいるほうがいいのかもかもしれない。

何年前かに猫のひたいほどの庭に水飲み皿をおいてみた。メジロやヒヨドリ、ムクドリなど何種類かの鳥たちがやってきて、水を飲んだり水浴びをしたりするようになった。ほとんどの鳥たちは番（つがい）？でやってくる。一方が水を浴びているあいだ、一方はいかにも周りを警戒している様子できよろきよろ。交代して水浴び。ほほえましい光景である。

このところ遊びにくる鳥たちの数が減ってきているような気がする。

近隣の林や木立が伐採され、鳥たちの巣食うところがなくなっているせいか、

来春、ウグイスはきてくれるだろうか。

＜田＞